



日本アイスランド地熱エネルギーフォーラム

日本とアイスランドの地熱開発と資金調達における 協力の可能性を探る

2010年11月16日(火)

国連大学

Morning Session モーニングセッション

日本とアイスランドの地熱開発とその課題

モデレーター 江原幸雄 地熱学会会長・九州大学大学院教授

—モーニングセッションにおける重要質問事項

1. 日本とアイスランドにおける地熱開発の課題はなにか。
2. 日本とアイスランドのモデルを組み合わせた場合の強みはなにか。
3. 日本とアイスランドにおけるさらなる地熱開発の可能性。
4. 地熱開発における政府の役割。
5. なぜ、アイスランドは日本製のタービンを使うのか。

09:00 – 09:05	開会挨拶 ステファン・ラウルス・ステファンソン駐日アイスランド大使
09:05 – 09:15	日本政府高官挨拶
09:15 – 09:35	オッスル・スカルプヘイジンソン アイスランド対外貿易大臣ご挨拶
09:35 – 09:55	経済産業省からのプレゼンテーション
09:55 – 10:15	アイスランドにおける地熱開発の枠組み グズニ・ヨハネソン アイスランド・エネルギー局局长
10:15 – 10:35	アイスランドにおける地熱開発とその課題 ヘルギ・ソウル・インガソン レイキャビクエナジー社 CEO
10:35 – 10:45	コーヒー・ブレイク
10:45 – 11:00	日本の発電所におけるケーススタディー 九州電力株式会社
11:00 – 11:20	アイスランドの発電所におけるケーススタディー 1 ヘトリスヘイジ発電所 (303MW)、ネシヤベトリル発電所 (120MW) シグルズル・アルナルド マンビト・エンジニアリング会長
11:20 – 11:40	アイスランドの発電所におけるケーススタディー 2 レイキャネス発電所 (100MW) スバルツエンギ発電所 (70MW), グンナル・インギ・グンナルソン ベルクイースエンジニアリング会長
11:40 – 12:10	ラウンドテーブル・ディスカッション 日本とアイスランドのモデルを組み合わせた場合の強みは何か。 参加者: 村岡洋文 弘前大学教授、北日本新エネルギー研究センター 前田孝雄 地熱開発協議会会長、三菱マテリアル株式会社地熱・電力事業センター所長 モーニングセッションのスピーカー
12:10 – 13:15	ランチ



Afternoon Session アフタヌーンセッション

開発途上国における地熱プロジェクトの 共同開発と資金調達について

モデレーター 西沢利郎 国際金融情報センターアジア第2部部長(国際協力銀行より出向)

—アフタヌーンセッションにおける重要質問事項

6. 開発途上国において必要とされる新たな電力容量と地熱発電によってどれだけまかなうことができるか。
7. 地熱プロジェクトの資金調達とリスクの軽減はどのようにするか。
8. 開発途上国における地熱開発と発電所建設にあたっての障害と、その克服。
9. 地熱開発における、開発銀行、途上国支援機関、貿易保険などの役割
10. 日本とアイスランドは今後10年間で1000MW、35～40億ドルの地熱発電所を開発途上国に建設できるか。

- 13:15 - 13:35 世界的な地熱開発の可能性
イングバル・ビルキル・フリズヨンソン 国連大学地熱研修プログラム ディレクター
- 13:35 - 14:00 開発途上国における地熱発電所建設とその課題
グズムンドル・シグルヨンソン エンベント CEO
- 14:00 - 14:20 地熱エネルギーのポテンシャルと課題 ～気候変動制約とエネルギー制約克服のために～
本郷尚 国際協力銀行 環境ビジネス支援室長
- 14:20 - 14:40 地熱開発における JICA の活動 —成果と展望—
桑原京子 国際協力機構 産業開発部部長
- 14:40 - 15:00 日本貿易保険からのプレゼンテーション
三木健 日本貿易保険 営業第二部部長
- 15:00 - 15:15 コーヒー・ブレイク
- 15:15 - 15:35 国際金融公社 (IFC) からのプレゼンテーション
山本伸二 国際金融公社インフラストラクチャー局
チーフ・インベストメント・オフィサー
- 15:35 - 16:00 アフリカ、ジブチにおけるケーススタディー
クリスチャン・オーラブソン
シニア・ファイナンシャル・アナリスト レイキャビク・エナジー
- 16:00 - 16:50 ラウンド・テーブル・ディスカッション
開発途上国における地熱の共同開発と資金調達について
日本とアイスランドモデルを使い、今後発展途上国において1000MW、
35～40億ドルの発電所を建設する可能性
参加者 アフタヌーン・セッションのスピーカー、その他
- 16:50 - 17:00 閉会の辞
ハラルド・フロシ・トリッグバソン レイキャビク・エナジー会長
- 17:30 - 19:00 レセプション